

共用品推進機構だより 2016年02月19日(42)

目次

(195) 共用品推進機構関連記事

▽「銚子市社会福祉大会・銚子市精神保健大会後に講演会／森川美和」

(196) 賛助会員ニュース

▽「商品名や説明文 言語変換し表示 大日本印刷、スマホで」

(197) 製品関連記事

▽「印字速く、キーは大きく／ブラザー工業」

▽「血圧を音声入力／ライフタイム・ヘルス・ダイアリー」

(198) サービス関連記事

▽「近況聞き家族にメール／明和地所」

(199) 新刊紹介

▽『現代の障がい児保育』

▽『ダウン症児を育てるってこんなこと しつけはどうする？将来どうなる？』

▽『色覚差別と語りづらさの社会学 エピファニーと声と耳』

▽『高齢ろう者の人生/障害者差別解消法』

(195) 共用品推進機構関連記事

▼「銚子市社会福祉大会・銚子市精神保健大会後に講演会／森川美和」

『誰もが暮らしやすい社会をめざして』と題し、第52回銚子市社会福祉大会・第45回銚子市精神保健大会の後、機構・総務部総務課の森川美和が講演

を行った。

「私たちは使っていてその不便さを企業に伝えてモノづくりを頑張ってきました。しかし『もしかすると使っていて良かったということ調査するといいんじゃないか?』ということで3、4年前から本格的に調査をしています。

使って良かったことを製造元に伝えていくと、どんどん企業は頑張っています。

「この製品良かったよ!もしよかったら伝えてね」と言うだけで必ずフィードバックされて製品の担当者に伝わっていきます。そしてもっと工夫されていくんですけど、大抵はクレームですよ。でも良い点に気がついた時にほんのちょっと伝えてくれれば、日本の企業はどんどん良くなります。

不便さの声というのはゼロを起点とするとマイナスなんですね。お客様の声を一生懸命埋めていってようやくゼロにできる。しかし、良いことというのはゼロの状態からの声なので、もっと上にあがって良くなっていくというのが良いこと調査の利点ではないかと思っています。

(日刊 大衆日報 2月17日3面より抜粋)

(196) 賛助会員ニュース

▼「商品名や説明文 言語変換し表示 大日本印刷、スマホで」

大日本印刷は15日、商品パッケージに記された商品名や説明文を多言語に切り替えて立体表示するシステムを開発したと発表した。訪日外国人らがスマートフォン(スマホ)でパッケージに印刷されたQRコードを読み取ると、日本語の表記を母国語に変換してスマホの画面に表示する。食品や日用品メーカーなどに売り込む。

「DNPパッケージ翻訳QRシステム」という名称でこのほど販売を始めた。日本語の説明文などを中国語や英語、フランス語などに切り替えられる。スマホ画面上でパッケージを立体的に表示するほか、タッチパネル操作でパッケージを回転させたり、拡大させたりすることもできる。

(日経産業新聞 2月16日6面より抜粋)

(197) 製品関連記事

▼「印字速く、キーは大きく／ブラザー工業」

オフィス向けラベルライター「ピータッチ PT-D600」。従来機種よりもキーボード面積が拡大。印字速度も約3倍の速さを実現した。カラー液晶にはテープカセットのテープ色と文字色、文字の装飾や枠なども表示されるので印刷前にラベルの完成イメージを確認できて便利。パソコンに接続してバーコードやロゴなども印刷可能。

(日経MJ 2月17日12面より抜粋)

▼「血圧を音声入力／ライフタイム・ヘルス・ダイアリー」

米アリゾナ州に本拠を置くライフタイム・ヘルス・ダイアリー (Lifetime Health Diary) は、改良を加えた米アップルの「iPhone」と「アップルウォッチ」向けの健康管理アプリ (応用ソフト)「ザ・ダイアリー (The Diary)」を発表した。

iPhoneでは薬の飲み忘れをしないように、薬の名称、処方量、服薬時間の情報などを表示するほか、「服薬済み」ボタンを押せば、その日付と時刻が記録される。診療予約や血圧なども記録できる。

アップルウォッチでは画面上の「音声入力」をクリックして、その時の血圧を例えば「私の血圧は上120、下70」と声で伝えれば記録される仕組み。

「アップストア」から無料で入手可能。

(日経産業新聞海外ニューフェース 2月19日15面より抜粋)

(198) サービス関連記事

▼「近況聞き家族にメール／明和地所」

明和地所は月内にも、マンションに1人で暮らす高齢者を対象にした「見守りサービス」を始める。高齢者の自宅に週2回電話をかけて30～60分にわたり近況を聞き、その様子を家族に知らせる。キャラバン隊と呼ばれる専門部署の社員がマンションの管理組合に出向いて提案営業する。

見守りサービスは、住戸内の電気・ガスの使用量をみて本人の安否確認を

するケースが一般的。電話による会話型サービスは珍しい。

子会社の明和管理が、見守りの専門業者ころみと連携した。

会話サービスを始める前にまずはころみの専門スタッフが本人と直接会う。会話の中で高齢者が困っていることがあれば、スタッフが必要に応じて調べて助言もする。

会話の内容は速記のようにスタッフが書き取り、その様子をメールで子供などの家族にその都度知らせる。

(日経MJ 2月19日9面より抜粋)

(199) 新刊紹介

▼『現代の障がい児保育』

障がい児保育の基本について学習するためのテキスト。「障がい」の概念と障がい児保育の歴史的変遷、個々の発達を促す生活や遊びの環境、小学校等との連携などを解説する。保育士養成教育課程の学習目標に準拠。

編著：井村圭壯（いむら・けいそう）相澤譲治（あいざわ・じょうじ）

発行：学文社

本体価格：2000円（税別）

ISBN：978-4-7620-2586-0

▼『ダウン症児を育てるってこんなこと しつけはどうする？将来どうなる？』

子どもの障害は受け入れた。それでこの先どうなるの？怒涛の乳幼児期をなんとか乗り越えたダウン症児の母親が、少し先の未来に向けた不安や疑問や愚痴をぶつけたエッセイ。専門家のアドバイス&施設見学レポート付き。

著：たちばなかおる

発行：講談社

本体価格：1100円（税別）

ISBN：978-4-06-219901-8

▼『色覚差別と語りづらさの社会学 エピファニーと声と耳』

色の判別がまわりの人と異なる色覚少数者の名状しがたい生きづらさは、何

に起因するのか？社会学における相互行為論の見地から、色覚少数者がいかに語りづらい状況に置かれてきたかを考察する。

著：徳川直人（とくがわ・なおひと）

発行：生活書院

本体価格：3500 円（税別）

ISBN：978-4-86500-048-1

▼『高齢ろう者の人生/障害者差別解消法』

息を飲む高齢ろう者の人生、日本の縦割り行政の弊害での法の矛盾点…。

「高齢聴覚障害者の暮らしから学ぶ」と「障害者差別解消法について考える」がテーマの2つの講義録。全通研アカデミーの内容をまとめたもの。内容をまとめたもの。

著：大矢暹（おおや・すすむ）池原毅和（いけはら・よしかず）

発行：文理閣

本体価格：1150 円（税別）

ISBN：978-4-89259-782-4

（編集後記）

2月も中旬となり、共用品推進機構が担当している標準化関連の委員会が、まとめの時期に入っています。今年度もたくさんの皆様にご協力いただき、使いやすい規格が誕生します。また情報誌などでもご報告いたしますので、引き続きよろしく願いいたします。（森川美和）

共用品推進機構公式サイト <http://www.kyoyohin.org/>

共用品ニュース（ブログ） <http://www.kyoyohin-news.org/>